



## 祝 辞

高知県教育長 伊藤 博明

第48回土佐教育研究会定期大会並びに研修会の開催にあたり、一言お喜びを申し上げます。

貴研究会におかれましては、昭和47年の創立以来、子どもたちの確かな成長を願い、それぞれの分野で教科等の研究や公開授業を実施されるなど、日々研鑽に励まれ、本県の教員の資質・指導力の向上や教育課題の解決等に御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、本年度は、平成28年度から4年計画で取組を始めた「教育等の振興に関する施策の大綱（教育大綱）」と「第2期高知県教育振興基本計画」の最終年度となっております。平成31年3月には、これらの計画の進捗状況の確認を行うとともに、国の教育改革の動向や社会情勢を勘案して、第3次改訂を行いました。

今回の改訂では、小・中学校の学力向上に向けて、教員が協働して取り組むチーム学校の取組を更に徹底し、授業改善のさらなる充実を目指すこととしております。小学校では、本年度から新たに「メンター制」を導入し、若手教職員が先輩教職員から学級経営や授業づくりに関する指導・助言を受けながら学び合う仕組みにより、若手教職員の育成を推進してまいります。中学校では、全ての市町村立中学校・義務教育学校で「中学校組織力向上のための実践研究事業」を導入し、主幹教諭等が中心となって学校組織におけるライン機能を強化するとともに、学校規模に応じて学び合う仕組み（「タテ持ち」型・「教科間連携」型）を取り入れることなどにより、組織としての力を向上させてまいります。このような取組を通して、学校がチームとして日常的なOJTや授業研究に組織的に取り組む風土の醸成を図ってまいりたいと考えております。

また、本年度は、昨年度まで算数・数学で実施していた「授業づくり講座」を国語、英語、特別の教科 道徳に広げ、教員が「いつでも どこでも 誰でも 学べる場」を数多く設けました。各教科の拠点校において実施する教材研究会や授業研究会への教員の自発的・主体的な参加を促し、新学習指導要領で目指す授業づくりについての学び合い、さらには、自ら学び続ける教員の育成と指導力の向上を推進してまいります。

県教育委員会としましては、各教科における児童生徒の資質・能力の育成を図る授業づくりについて、貴研究会とともに研究を重ねていくことで、本県の教育課題の解決につなげていきたいと考えております。

最後になりましたが、貴研究会のますますの御発展と御参会の皆さまのさらなる御活躍を祈念し、お祝いの言葉といたします。



## ごあいさつ

土佐教育研究会  
会長 藤田 由紀子

令和元年6月8日(土)に開催されました第48回定期大会において、中田正康先生の跡を受け継ぎ、会長を務めさせていただくこととなりました。48年間という長きにわたって諸先輩方が築き上げてきた「土佐研」。そのバトンを受け継ぎ、次の時代に渡す一翼を担う重責に身が引き締まる思いがしております。

さて、創立時の会報第1号には、初代会長 岡崎正一先生の、『時の流れは早く、社会環境の変化も激しい。「人間とは?」そして、「教育とは?」等の命題に真剣に取り組まねばならない。』との言葉があります。社会の変化を敏感に感じ取り、教育の不易流行を見定め、高知県の教育振興に尽力くださった先生の言葉からは、「土佐研」創立時の熱き理念が伝わってきます。今こそ社会と教育の潮流の変化を機敏に感じ取り、社会や人間の本質に迫る教育を考えるとときではないでしょうか。

そこで、今の子どもたちが生きる未来について少し考えてみます。その姿を垣間見ることができるのが、内閣府が提唱しているソサエティ5.0です。ソサエティ5.0の社会は、サイバー空間とフィジカル空間(現実社会)が密接に繋がっており、IoTで人と人、人とモノがつながり、様々な知識や情報が世界中で共有される社会です。また、そのことによって、今までにない新たな価値が生み出され、課題や困難を克服することができる持続可能な社会であるといわれています。すでに私たちの社会には、IoTを活用した沢山の家電製品があり、AIやロボットが医療や様々な産業分野で活用されています。ソサエティ5.0は実現に向かいつつあります。

この社会の変化によってこれまで以上に、主体的で協働的な生き方や論理的で柔軟な思考が求められています。それに伴い、来年度より小学校で本格実施される学習指導要領では、「主体的・対話的で深い学び」の実現や、外国語や道徳の教科化、プログラミング教育の導入などが示されています。社会とともに学校教育も大きく変化しようとしています。

私達「土佐研」は、本会の共通テーマ「主体的・創造的な教育を求めて」のもと、理念と伝統を受け継ぎ、ともに、未来を担う子ども達を育む教育の実践と研究を追求することができる教育団体であると自負しております。

私自身は甚だ微力ではありますが、各役員・支部専門部員役員の皆様、全ての会員の皆様とともに切磋琢磨し、高知の教育を現場から支える「土佐研」の充実と進歩に寄与していく所存です。

1年間どうかよろしく願いいたします。

## 平成 30 年度 活動経過報告

土佐教育研究会は1972年の発足以来、21世紀に生きる子どもたちの成長と幸福を願い、高知県レベルで唯一の教科・領域を網羅した民間教育研究団体として主体的・創造的な教育を推進してきた。また、5支部・19専門部会が相互に連携を取り、さらなる研究の活性化をめざして、県や中四国・全国レベルの研究会や研究大会の開催を担っている。世代交代が進む中で、若手教員に研究・学習の場を提供するために会員拡大にも努めてきている。以下、平成30年度の活動について概要を報告する。

### 1 研究活動

昨年度は、県大会や学習会等を開催し、提案授業や研究発表を基にした研究協議、講師による講演等を通して、新学習指導要領の実施を踏まえた授業改善の参考となる手がかりを得ることができた。

また、8月17日（金）には、本部・高知支部主催による第9回土佐教育研究会研究大会を高知市立自由民権記念館で開催し、3支部（高知、中部、西部）の代表者による研究発表と広島大学附属小学校教諭西原美幸先生による講演会を実施した。各支部からは、それぞれ道徳、総合的な学習の時間、へき地・複式の部門について報告・発表があった。県内各地より56名の参加者を得て、実践における成果と課題を学び、充実した研修となった。

さらに、県内5支部では、支部内で開催した研究会・研修会と連携を取り、それぞれの地域の実態に即した活動を行った。

### 2 組織の拡充

近年、大量退職、大量採用の時代となり、これまで土佐研を支えていただいた先輩方が職場を去られる中、新たな会員の確保が大きな課題となっている。

本年度、本部事務局、各支部、各専門部、各職場での加入促進を積極的に行ったが、新規加入は退職者数に追い付かず、会員数は昨年度と比べ12名減の1532名となっている。

現在、教育委員会主催の様々な研修が行われる中ではあるが、自分自身の課題意識に基づいた自主的な研修の重要性をもう一度アピールしていかなければならない。また、土佐研ならではの研究実績を広く広報することも重要である。こうしたことを、新たに教職に就く方々に知ってもらい、会員獲得につなげていくことが、組織にとっての急務でもある。

### 3 広報活動

会報「土佐」No.143・144を発行した。また、研究大会等の場やで土佐研加入の案内を行った。今後も、加入案内や会報について、現状を踏まえ、教職員に広くアピールできるよう検討をしていく。

### 4 財源の確保

本年度の補助金については、高知県教育委員会から昨年度と同額の100万円の交付があった。また、教職員互助会からも100万円の寄付金をいただくことができた。それ以外にも、教育公務員弘済会から23万円、さらに文教協会から4万円の研究助成をいただいた。

しかし、来年度については、教職員互助会からの100万円の寄付金の廃止が決定しており、厳しい情勢となっている。さらに、今後の情勢を考えると、自主的な財源の割合を高めていくことが必要である。

### 5 関係諸団体との連携

4の財源の確保でもふれたが、多額の寄付や補助をいただくのは、それだけ本会に対する実績の評価や期待が大きいからであろう。本県の大きな課題である新任教員の育成は、県教育委員会の課題であるが、同時に、現場を預かる教員一人ひとりの問題でもある。したがって、教員の育成に、民間の研究団体である私たち「土佐研」の果たす役割は重要であり、県教育委員会との一層の連携を検討していきたい。

平成30年度事業実績

	事業名	実施時期	場 所	講師職氏名	参加予定人数
国 語	第50回夏期国語教育学習会	平成30年7月23日・24日	高知会館	弥延浩史・青木伸生(筑波大附属小教諭)	222
	第26回国語セミナー(幡多)	平成30年7月24日	JA高知はた農協会館	弥延浩史・青木伸生(筑波大附属小教諭)	26
	第59回高知県国語教育研究大会	平成30年11月22日	芸西村立芸西小学校	白石範孝 (明星大学教育学部教育学科常勤教授)	58
書 写	第59回高知県書写教育研究大会	平成30年11月20日	春野東小学校	青山浩之(横浜国立大学教授)	66
社 会	第15回社会科セミナー	平成30年7月27日	附属小学校	由井蘭健(筑波大学附属小教諭)	77
	第66回高知県社会科教育研究大会	平成30年11月20日	朝倉小・中学校	宮英司 (高知大学教育学部非常勤講師・一宮幼稚園長)	61
	高知算数セミナー	平成30年7月25日・26日	三翠園	山本良和(筑波大学附属小)他	350
	幡多算数セミナー	平成30年7月27日	四万十市中央公民館	山本良和(筑波大学附属小)他	100
	平成30年高知県算数数学教育研究大会(室戸市)	平成30年11月14日	室戸市立室戸小学校 室戸中学校	笠井健一(文部科学省初等中等教育局 教育課程教科調査官)	500
	支部合同研究発表会	平成31年1月5日	高知県教育センター	青山和裕(愛媛教育大学)	70
理 科	第24回理科セミナー	平成30年7月30日	附属小学校	森田和良 (國學院大學栃木短期大非常勤講師)	67
	小学校夏期学習会	平成30年8月2日	南国市立香長中学校		25
	中学校理科夏期学習会	平成30年8月2日	南国市立香長中学校	井上美貴(小中学校課指導主事)	
	第66回高知県理科教育研究大会(小学校・土長南国大会)	平成30年11月20日	大條小・香長中 南洋コア総合研究センター	徳山英一(海洋コア総合研究センター長)	85
	小中学校理科臨地学習会	平成31年2月17日	高知大学朝倉キャンパス	松井透(高知大学理工学部)	20
	土佐教育研究会生活科・総合的な学習部会夏季研究集会	平成30年8月22日	高知市立神田小学校		9
生 活	第25回土佐教育生活科・総合的な学習部会県大会	平成30年11月20日	四万十市立具同小学校	石堂裕 (兵庫県たつの市立新宮小学校主幹教諭)	23
	第65回高知県音楽教育研究大会(高知市大会)	平成30年11月30日	昭和小・一宮中 県立美術館ホール	若松敏(作曲家)	100
造 形	第58回表現・図画工作・美術科実技講習会	平成30年8月9日	附属中学校	川田英二(土佐中学・高等学校)	11
	第58回表現・図画工作・美術科実技講習会	平成30年8月15日	高知大学	安部鉄太郎(高知大学)	15
	第58回高知県造形教育研究大会	平成30年12月6日	安芸市立清水ヶ丘中学校	中野富美子(高知県造形教育研究会顧問)	16
	平成30年度高知県小学校家庭科教育研究大会	平成31年2月14日	土佐市立蓮池小学校		33
技 術	「豊かな生活を創るアイデアハック」コンクール高知県大会	平成30年8月7日	附属中学校		5
	第5回木工チャレンジコンテスト高知県大会	平成30年9月18日	附属中学校		3
	高知県中学校技術・家庭科生徒作品コンクール	平成30年10月5日	横浜中学校	7校	80
	第16回高知県からくりロボットコンテスト	平成30年11月10日	高知高専	7校47チーム	延べ 100人
	第57回高知県技術・家庭科研究大会	平成31年1月16日	愛宕中学校	別役千世(県教育センターチーフ) 茅田哲也(県教育センター指導主事)	40
保 健 体 育	第59回高知県小学校体育連盟夏季共励会	平成30年8月24日	安芸市立伊尾木小学校	田中賢史(朝倉第二小教諭)	台風のため中止
	第57回学校体育保健研究大会	平成30年11月22日	須崎高等学校 須崎市立文化会館	大塚剛弘(高知県教委保健体育課チーフ)	150
	第32回高知県小学校体育研究大会	平成30年12月11日	四万十私立具同小学校	山岡誠(高知県教委保健体育課指導主事)	30
外 国 語	高知県英語教育研究大会	平成30年8月19日	高知県教育センター本館	内田ヘリーン	60
	第47回高知県教育文化祭 第70回高知県英語弁論大会	平成30年11月3日	高知県立大学教育研究棟		59
	第52回高知県道徳教育研究大会	平成30年12月2日	南国市立岡豊小学校		141
道 徳	第52回高知県道徳教育研究大会	平成30年12月26日	高知会館	横山利弘(日本道徳教育学会名誉教授) 柴原弘志(京都産業大学教授)森有希(高知大学准教授)	
	第50回特別活動研究大会	平成30年10月12日	南国市立長岡小学校		48
図 書 館	2018年度高知県学校図書館研究大会	平成30年11月29日	オーテピア高知図書館	アーサー・ピナード(詩人)	150
視 聴 覚	高知県放送・視聴覚教育研究会夏季研修会(西部地区)	平成30年7月28日	三原村農業構造改善センター	増井康弘 (香川テレビ教育研究会丸亀市立群衆小学校教諭)	30
	高知県放送・視聴覚教育研究会夏季研修会(東部地区)	平成30年7月30日	香美市立山田小学校	中川一史(放送大学教授) 佐藤幸江(金沢星陵大学教授)	30
	高知県放送・視聴覚教育研究会夏季特別研究会	平成30年8月20日	高知丸の内高等学校	鍋島亭子(幼)山本健吉(小)宮英司(中)小島一久(高)	20
	平成30年度高知県放送・視聴覚教育研究大会(高等学校)	平成30年11月6日	高知丸の内高等学校		10
	平成30年度高知県放送・視聴覚教育研究大会(中学校)	平成30年11月20日	高知市立一宮中学校		20
	平成30年度高知県放送・視聴覚教育研究大会(小学校)	平成30年11月21日	香美市立山田小学校	貫井真史(NHK青少年教育番組部デスク)	40
	平成30年度高知県放送・視聴覚教育研究大会(幼稚園)	平成31年2月21日	学校法人富地学園認定子ども園 杉の子せと幼稚園		20
	進 路	第53回高知県進路指導研究大会	平成31年2月5日	香南市立夜須中学校	
へ き 地	高知県へき地複式教育夏季研修会	平成30年7月27日	高知県立高知青少年の家		20
	平成30年度高知県へき地・複式教育研究大会	平成30年10月19日	いの町立吾北小学校		150
環境教育	自然体験活動とクラフト作り	平成30年10月6日	高知県立森林センター		40

平成30年度事業実績

	事業名	実施時期	場 所	講師職氏名	参加予定人数
国 語	第50回夏期国語教育学習会	平成30年7月23日・24日	高知会館	弥延浩史・青木伸生(筑波大附属小教諭)	222
	第26回国語セミナー(幡多)	平成30年7月24日	JA高知はた農協会館	弥延浩史・青木伸生(筑波大附属小教諭)	26
	第59回高知県国語教育研究大会	平成30年11月22日	芸西村立芸西小学校	白石範孝 (明星大学教育学部教育学科常勤教授)	58
書 写	第59回高知県書写教育研究大会	平成30年11月20日	春野東小学校	青山浩之(横浜国立大学教授)	66
社 会	第15回社会科セミナー	平成30年7月27日	附属小学校	由井茜健(筑波大学附属小教諭)	77
	第66回高知県社会科教育研究大会	平成30年11月20日	朝倉小・中学校	宮英司 (高知大学教育学部非常勤講師・一宮幼稚園長)	61
	高知算数セミナー	平成30年7月25日・26日	三翠園	山本良和(筑波大学附属小)他	350
	幡多算数セミナー	平成30年7月27日	四万十市中央公民館	山本良和(筑波大学附属小)他	100
	平成30年高知県算数数学教育研究大会(室戸市)	平成30年11月14日	室戸市立室戸小学校 室戸中学校	笠井健一(文部科学省初等中等教育局 教育課程教科調査官)	500
	支部合同研究発表会	平成31年1月5日	高知県教育センター	青山和裕(愛媛教育大学)	70
理 科	第24回理科セミナー	平成30年7月30日	附属小学校	森田和良 (國學院大學栃木短期大非常勤講師)	67
	小学校夏期学習会	平成30年8月2日	南国市立香長中学校		25
	中学校理科夏期学習会	平成30年8月2日	南国市立香長中学校	井上美貴(小中学校課指導主事)	
	第66回高知県理科教育研究大会(小学校・土長南国大会)	平成30年11月20日	大條小・香長中 南洋コア総合研究センター	徳山英一(海洋コア総合研究センター長)	85
	小中学校理科臨地学習会	平成31年2月17日	高知大学朝倉キャンパス	松井透(高知大学理工学部)	20
	土佐教育研究会生活科・総合的な学習部会夏季研究集会	平成30年8月22日	高知市立神田小学校		9
生 活	第25回土佐教育生活科・総合的な学習部会県大会	平成30年11月20日	四万十市立具同小学校	石堂裕 (兵庫県たつの市立新宮小学校主幹教諭)	23
	第65回高知県音楽教育研究大会(高知市大会)	平成30年11月30日	昭和小・一宮中 県立美術館ホール	若松敏(作曲家)	100
造 形	第58回表現・図画工作・美術科実技講習会	平成30年8月9日	附属中学校	川田英二(土佐中学・高等学校)	11
	第58回表現・図画工作・美術科実技講習会	平成30年8月15日	高知大学	安部鉄太郎(高知大学)	15
	第58回高知県造形教育研究大会	平成30年12月6日	安芸市立清水ヶ丘中学校	中野富美子(高知県造形教育研究会顧問)	16
	平成30年度高知県小学校家庭科教育研究大会	平成31年2月14日	土佐市立蓮池小学校		33
小学家庭	「豊かな生活を創るアイデアハック」コンクール高知県大会	平成30年8月7日	附属中学校		5
	第5回木工チャレンジコンテスト高知県大会	平成30年9月18日	附属中学校		3
	高知県中学校技術・家庭科生徒作品コンクール	平成30年10月5日	横浜中学校	7校	80
	第16回高知県からくりロボットコンテスト	平成30年11月10日	高知高専	7校47チーム	延べ 100人
	第57回高知県技術・家庭科研究大会	平成31年1月16日	愛宕中学校	別役千世(県教育センターチーフ) 茅田哲也(県教育センター指導主事)	40
保健体育	第59回高知県小学校体育連盟夏季共励会	平成30年8月24日	安芸市立伊尾木小学校	田中賢史(朝倉第二小教諭)	台風のため中止
	第57回学校体育保健研究大会	平成30年11月22日	須崎高等学校 須崎市立文化会館	大塚剛弘(高知県教委保健体育課チーフ)	150
	第32回高知県小学校体育研究大会	平成30年12月11日	四万十私立具同小学校	山岡誠(高知県教委保健体育課指導主事)	30
外 国 語	高知県英語教育研究大会	平成30年8月19日	高知県教育センター本館	内田ヘリーン	60
	第47回高知県教育文化祭 第70回高知県英語弁論大会	平成30年11月3日	高知県立大学教育研究棟		59
	第52回高知県道徳教育研究大会	平成30年12月2日	南国市立岡豊小学校		141
道 徳	第52回高知県道徳教育研究大会	平成30年12月26日	高知会館	横山利弘(日本道徳教育学会名誉教授) 柴原弘志(京都産業大学教授)森有希(高知大学准教授)	
	第50回特別活動研究大会	平成30年10月12日	南国市立長岡小学校		48
図 書 館	2018年度高知県学校図書館研究大会	平成30年11月29日	オーテピア高知図書館	アーサー・ピナード(詩人)	150
視 聴 覚	高知県放送・視聴覚教育研究会夏季研修会(西部地区)	平成30年7月28日	三原村農業構造改善センター	増井康弘 (香川テレビ教育研究会丸亀市立群衆小学校教諭)	30
	高知県放送・視聴覚教育研究会夏季研修会(東部地区)	平成30年7月30日	香美市立山田小学校	中川一史(放送大学教授) 佐藤幸江(金沢星陵大学教授)	30
	高知県放送・視聴覚教育研究会夏季特別研究会	平成30年8月20日	高知丸の内高等学校	鍋島亭子(幼)山本健吉(小)宮英司(中)小島一久(高)	20
	平成30年度高知県放送・視聴覚教育研究大会(高等学校)	平成30年11月6日	高知丸の内高等学校		10
	平成30年度高知県放送・視聴覚教育研究大会(中学校)	平成30年11月20日	高知市立一宮中学校		20
	平成30年度高知県放送・視聴覚教育研究大会(小学校)	平成30年11月21日	香美市立山田小学校	貫井真史(NHK青少年教育番組部デスク)	40
	平成30年度高知県放送・視聴覚教育研究大会(幼稚園)	平成31年2月21日	学校法人富地学園認定子ども園 杉の子せと幼稚園		20
	進 路	第53回高知県進路指導研究大会	平成31年2月5日	香南市立夜須中学校	
へ き 地	高知県へき地複式教育夏季研修会	平成30年7月27日	高知県立高知青少年の家		20
	平成30年度高知県へき地・複式教育研究大会	平成30年10月19日	いの町立吾北小学校		150
環境教育	自然体験活動とクラフト作り	平成30年10月6日	高知県立森林センター		40

平成30年度 土佐教育研究会東部支部活動報告

1 支部の組織構成（平成30年度役員名簿）

役職	氏名	勤務校	役職	氏名	勤務校
支部長	明石 芳文	舟入小学校	事務局	岡崎 裕彦	伊尾末小学校
研究部長	浜地 洋一	片地小学校	研究副部長	吉良 和夫	吉川小学校
事業部長	平石 誠	穴内小学校	事業副部長	中島 佳史	片地小学校
組織部長	山岡 大二	安芸第一小学校	組織副部長	大井 厚志	佐古小学校
広報部長	岡松 治彦	川北小学校	広報副部長	門田 満徳	野市東小学校
会計部長	森田 卓志	大宮小学校	会計副部長	白石 ゆり	香長小学校

2 支部役員会

- 第1回 平成30年6月16日（土） 佐古小学校 9:30～11:00  
 （土佐教育研究会定期大会 平成30年6月9日（土））
- 第2回 平成31年2月2日（土） 野市東小学校 9:30～11:00

3 東部支部総会・研修会

- (1) 期 日 平成30年7月21日（土） 14:00～16:30
- (2) 場 所 芸西村生涯学習館 学習室
- (3) 内 容
- ◇ 研修会（90分程度）
  - 演題： 「学校・保護者・地域による“熟議と協働”」
  - 講師：片地小学校学校運営協議会委員 永野 圭助 氏
  - ◇ 東部支部総会
  - ① 支部長あいさつ
  - ② 報告
  - ア 平成30年度活動方針及び予算について（定期大会の報告）
  - イ 平成30年度の役員について（定期大会の報告）
  - ③ 議事
  - ア 平成29年度東部支部活動報告について
  - イ 平成29年度東部支部決算について
  - ウ 平成30年度東部支部活動計画案について
  - エ 平成30年度東部支部予算案について
  - オ 平成30年度東部支部役員について
  - カ その他
  - ④ 新役員あいさつ

4 東部支部教育研究会について

- (1) 期 日 平成30年12月15日（土） 14:00～16:40
- (2) 場 所 芸西村生涯学習館 学習室
- (3) 内 容
- ① 開会行事（開会あいさつ）
  - ② 日程説明
  - ③ 実践発表 14:10～
  - 実践発表Ⅰ 視聴覚部会 香美市立片地小学校 浜地 洋一 校長  
「教職員の資質・能力を上げる校内研修の工夫」
  - 実践発表Ⅱ 特別活動部会 北川村立北川小学校 中野 博文 校長  
「クラブ活動 ～高知県の現状と課題、特色ある活動～」
  - ④ 講 演 15:10～
  - 講師： 宇治橋 祐之 氏（日本放送協会 放送文化研究所）
  - 演題： 「デジタルコンテンツを活用した授業改善」
  - ⑤ 閉会行事（閉会あいさつ） 16:40～

## 中部支部活動報告

### 1 支部の組織構成（平成30年度役員名簿）

支部長	大谷 俊彦	本山町立嶺北中学校
事務局	高橋 雅兄	南国市立奈路小学校
研究部	川端 純子	南国市立日章小学校
事業部	島内 祥夫	南国市立岡豊小学校
組織部	武市 親典	大豊町立おおとよ小学校
広報部	藤本 由美	南国市立三和小学校
会計部	田上三恵子	本山町立本山小学校

### 2 支部の取り組み

- 支部の活動計画
  - ①各教科等研修会・研究大会補助（大豊町中）
  - ②中部支部としての研修会の開催
    - ・ 県外講師を招聘しての研修会（日章小・嶺北中）
- 組織拡大の取り組み
  - ・ 各校、役員を中心に組織拡大の取り組み
  - ・ 補助をする研究大会等で「入会のご案内」の配布
- 研究大会・研修会等の概要報告（別紙）



(別紙)

## 平成30年度中部支部活動報告

### 1 (1) 土佐教育研究会中部支部研修会 I

- 期日：平成30年7月31日(火)
- 会場：南国市立日章小学校・日章福祉交流センター
- 内容：南国市社会科教育研究会夏季研修会
- 講師：国士舘大学教授 澤井陽介先生
- 参加者：56名
- 研究会概要

社会科教育研究会はこれまで「追究する子どもを育てる社会科」として探求する学習過程を重視した研究を重ねてきた。特に教材研究に力を注ぎ、子どもが意欲的に追究できる教材開発を重ねてきた。

今回の提案授業では「日本国憲法の役割と我が国の政治の働き」という単元の導入にあたり、高知県発祥の「教科書無償運動」を取り上げることで児童の関心を高めるように工夫した。「教科書無償運動」を知ることにより「なぜ国が住民の要求を認めたのか」と問うことによって、国民生活と日本国憲法を関連付けて考えさせた。このように教材を工夫し、展開することによって、児童は日本国憲法を身近に感じ始め、問いをもつことができたよう思う。

「トークセッション」では、社会科における「見方・考え方」をテーマに、小・中の教員が登壇し、提案授業を踏まえながら新学習指導要領にそつたとらえかたの協議をした。

澤井教授には「新学習指導要領を読み解く」という演題で講演していただいた。その中で、特に各学年の内容がどのように変わったのかを丁寧に解説していただいた。また、子どもが「見方・考え方を働かせる」ための授業改善をするためには、教材化の工夫と問題解決的な学習の展開(過程)の工夫が必要であると強調された。問題解決的な学習の展開(過程)には「問い」の構成・資料提示

の工夫・対話的な学習活動の工夫等、授業力の向上に向け、教員がこれから取り組むべきことについて指導・助言をいただいた。

参観者は、日頃の自分の授業を振り返りながら、追究する子どもを育てる、そして学力を高めていく授業づくりについて改めて考え、2学期からの授業に向けて英気を養うことができた。





## (2) 土佐教育研究会中部支部研修会Ⅱ

○期日：平成30年10月23日（火）

○会場：本山町立嶺北中学校・本山町プラチナセンター

○内容：中部教育事務所研究指定

平成30年度探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業研究発表会

○講師：大阪教育大学教授 田村知子先生

○参加者：75名

○研究会概要

昨年までの3年間の高知県教育委員会の研究指定事業を継続し、今年度は中部教育事務所から研究指定を受け、平成30年度探究的な授業づくりのための教育課程研究実践事業研究発表会が開催された。

公開授業では、1年生が英語の少人数分割授業、2年生が総合的な学習の時間、3年生が数学のティーム・ティーチングによる授業を実施した。75名という多くの参観者があったが、なかでも総合的な学習の時間については、本校が先導的な研究実践を続けてきた実績もあることから、教室に入りきれないくらい多くの参観者で溢れていた。



公開授業後は、高知県教育委員会、中部教育事務所の指導主事を助言者に招き、それぞれの教室で分科会を開催し、授業についての研究協議を行った。

その後、会場を本山町プラチナセンターに移し、全大会の最初に、本校研究主任から本校の取組及び研究実践について20分間の報告を行った。



次に、カリキュラム・マネジメントの第一人者である大阪教育大学の田村知子教授による「探究的な学びを起こすカリキュラム・マネジメント」と題する講演が行われた。「カリキュラム・マネジメントの必要性」や「カリキュラム・マネジメントの基礎・基本」に重点を置き、参加者にわかりやすく解説していただいた。田村先生のお話を初めて聞く参加者も多かったが、「今、なぜ、カリキュラム・マネジメントが求められているのか」ということがよくわかった。また、田村先生が最後に話された「カリキュラム・マネジメントは誰のためか」という問いに対して、「子どもたちの幸せのために行わなければならない」という言葉が参加者の心に残ったようだった。

最後に、中部教育事務所の小田所長が講評として、本校の取組について、成果と今後の課題についてまとめていただき、研究発表会を閉会した。

参加者からは、本校の学習指導案「探究的な学びの構想を可視化する授業プラン」や総合的な学習の時間の取組、探究的な授業づくりや嶺北スタンダードなどがとても参考になったという感想をたくさんいただくことができた。

### (3) 土佐教育研究会中部支部研修会Ⅲ

○期日：平成31年1月30日（水）

○会場：大豊町立大豊町中学校

○内容：「中学校教科間連携による授業力実践研究事業」研究発表会  
研究発表、公開授業、分科会、講演

○講師：県立広島大学 総合教育センター 教授 門戸 千幸 氏

○参加者：57名

○研究会概要

大豊町中学校では、昨年度から高知県教育委員会の「中学校教科間連携による授業力実践研究事業」として2年間の研究指定を受け、チーム会による「教職員の専門職としての意識高揚と授業改善及び授業力向上」に取り組んでいる。当日は、これまでの取組について研究発表、理科と数学の公開授業、授業後のチーム検討会の様子を公開した。その後、「小規模校における授業改善のポイント」と題して講演をいただいた。



○講演内容

- ・ビジョンを明確にし、共有化を図ることが大切である。そのためには、学習指導要領解説を読んでしっかりと理解すること。
- ・校内研修の充実のためには、子どもの育成に直結する研修をする必要がある。

授業力の構成要素・・・授業構想力・授業展開力・授業評価力

教科等に関する知識・授業研究の意欲と授業研究力

- ・評価計画を作成する際には、指導事項と効果的な指導のための言語活動が一致していなければならない。そのためのポイントは、①評価規準の設定…どんな姿を表わしてほしいのか②評価時期の設定…いつ、その姿を把握するのか③評価方法の設定…何によって、その姿を把握するのか④指導の手立ての設定…努力を要する生徒がいたらどうするのか、である。
- ・成果をあげている学校の取組の特徴は、①家庭学習指導 ②管理職のリーダーシップと同僚生の構築、実践的な教員研修 ③小中連携教育 ④言語に関する授業規律や学習規律の徹底 ⑤各種学力調査の活用である。
- ・授業デザインの明確化のポイントは、①育成を目指す資質・能力（指導事項）…何ができるようになるか②そのための言語活動（学習課題）をどのように設定するか③評価規準と評価方法の決定 ④生徒の実態や学習の履歴を踏まえた教材研究、である。



## 平成30年度 土佐教育研究会高知支部 活動報告

### 1 高知支部役員名簿

役員	名前	勤務校	役員	名前	勤務校
支部長	森 一正	五台山小	事務局長	山下 美奈子	小高坂小
研究部長	藤原 祐三	第四小	組織部長	松岡 聖士	横内小
広報部長	武林 勝志	五台山小	事業部長	岡田 定之	一ツ橋小
会計部長	弘瀬 直美	旭東小			

### 2 平成30年度の活動 土佐教育研究会第9回研究大会

- (1) 期 日 平成30年8月17日(金)
- (2) 主 催 土佐教育研究会 土佐教育研究会高知支部
- (3) 会 場 高知市立自由民権記念館
- (4) 日 程 12:30～13:00 受付
- 13:00～13:20 開会行事
- 13:20～15:00 支部提案〔3支部より〕

支部	教科	研 究 主 題	発表者	所 属
高知	道徳教育	一ツ橋小学校の道徳教育の取り組みについて	中村 志乃	高知市立 一ツ橋小学校
中部	総合的な 学習の時間	探求的で魅力ある総合的な学習の時間の創造 ～カリキュラム・マネジメントを軸として～	大谷 俊彦	本山町立 嶺北中学校
西部	へき地・ 複式	アクティブに学習できる児童を目指して ～ホップ・ステップ・ジャンプ～	大原 淳子	四万十市立 中筋小学校

- 15:10～16:40 講 演
- 演 題 「新学習指導要領に沿って展開する  
小学校外国語教育の在り方  
－移行期間にすべきこと－」
- 講 師 広島大学附属小学校 教諭 西原 美幸 先生

16:40～16:45 閉会行事

- (5) 備 考 参加者数56名

# 平成30年度 土佐教育研究会高岡支部・活動報告

## 1. 支部の組織構成（役員名簿）

### （1）役員

役職名	氏名	勤務校
支部長	弘光 敦	米奥小
事務局	坂本 隆志	黒岩小
研究部長	中越 あかね	東又小
事業部長	黒瀬 忠行	上ノ加江小

役職名	氏名	勤務校
組織部長	杉野 雅彦	浦ノ内中
広報部長	青木 美珠	蓮池小
会計	石川 美香	中央小

### （2）教科部長

教科名	氏名	勤務校
国語	小濱 みほ	高岡第一小
書写	浜田 彰子	吾桑小
社会	久武 桂津代	蓮池小
算数	弘光 敦	米奥小
理科	坂本 隆志	黒岩小
生活	中越 あかね	東又小
音楽	富永 雅	窪川中
造形		
小家	青木 美珠	蓮池小
技家	安岡 健二	戸波中

教科名	氏名	勤務校
保体		
外国語		
道徳	石川 美香	中央小
特活		
図書	青木 美珠	蓮池小
視聴覚		
進路		
へき地	黒瀬 忠行	上ノ加江小
環境		

## 2. 支部の活動

### （1）組織拡大の取組

- 第1回支部役員会並びに総会にて協議・・・まずは、役員・教科部長が同僚に呼びかける！

### （2）高岡支部総会・研修会

日時：平成30年6月18日（月） 15:30～17:00  
 会場：高知県須崎総合庁舎3階 第6会議室  
 テーマ：「高知県へき地・複式・小規模校教育研究会の取組について」  
 講師：中土佐町立上ノ加江小学校長 黒瀬 忠行 先生

### （3）高岡支部研修会・情報交換会

日時：平成31年2月4日（月） 16:00～17:00  
 会場：高知県須崎総合庁舎3階 第6会議室  
 テーマ：「各教科等の目指す資質能力の育成」  
 講師：四万十町立米奥小学校長 弘光 敦 先生

### （4）研究活動の推進

会の名称	開催期日	会場	参加	内容
高岡支部役員会	H30. 4. 20	須崎市立文化会館	2名	平成30年度の組織運営
高岡支部総会・研修会	H30. 6. 18	須崎市総合庁舎	7名	平成30年度の活動計画 テーマ：高知県へき地・複式・小規模校

				教育研究会の取組について 講師：黒瀬 忠行 校長先生 (上ノ加江小学校)
高岡支部研修会・情報交換会	H31. 2. 4	須崎市総合庁舎	5名	テーマ：米奥小の取り組みより 講師：弘光 敦 校長先生 (米奥小学校)
土佐研高岡算数サークル	H30. 5. 19	土佐市教育研究所	16名	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践での悩み 「かけ算」「数の仕組み」</li> <li>実践報告 「いろいろな形の面積を調べよう」 「なかまをつくろう」</li> <li>中四国大会レポートに向けて</li> </ul>
土佐研高岡算数サークル	H30. 6. 16	土佐市教育研究所	16名	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践報告 「わり算」「数感覚を豊かにする」</li> <li>筑波大附属小の実践紹介「場合の数」</li> <li>中四国大会レポート検討</li> </ul>
土佐研高岡算数サークル	H30. 6. 30	土佐市教育研究所	16名	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践での悩み 「重なり長さ」「わり算」「割合」</li> <li>実践紹介 「4年で扱う割合」「いろいろな問題」</li> <li>中四国大会レポート検討</li> </ul>
土佐研高岡算数サークル	H30. 7. 7	土佐市教育研究所	16名	<ul style="list-style-type: none"> <li>中四国大会レポート検討</li> </ul>
土佐研高岡算数サークル	H30. 8. 25	土佐市教育研究所	16名	<ul style="list-style-type: none"> <li>中四国大会発表の方向性・ 授業案検討</li> </ul>
土佐研高岡算数サークル	H30. 9. 8	土佐市教育研究所	16名	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践発表・紹介 「違いに目をつけて」「分数」 「小数倍した量と基準の量の関係」 「平均の活用」</li> <li>中四国大会の発表に向けて</li> </ul>
土佐研高岡算数サークル	H30. 10. 6	土佐市教育研究所	16名	<ul style="list-style-type: none"> <li>中四国大会の発表に向けて</li> </ul>
土佐研高岡算数サークル	H30. 10. 13	土佐市教育研究所	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>中四国大会の発表に向けて レポート検討</li> <li>実践発表 「少数」「等しい大きさの分数」 「たし算とひき算の筆算」</li> <li>中四国発表の進捗状況</li> </ul>
土佐研高岡算数サークル	H30. 11. 4	土佐市教育研究所	6名	<ul style="list-style-type: none"> <li>中四国発表に向けてレポート検討</li> </ul>
土佐研高岡算数サークル	H30. 11. 6	土佐市教育研究所	10名	<ul style="list-style-type: none"> <li>中四国実践発表パワーポイント作成</li> </ul>
土佐研高岡算数サークル	H30. 12. 8	土佐市教育研究所	16名	<ul style="list-style-type: none"> <li>中四国大会の報告</li> <li>実践発表</li> <li>支部会報告に向けて</li> </ul>
土佐研高岡算数サークル	H31. 1. 5		16名	高知県支部合同研究発表会 <ul style="list-style-type: none"> <li>支部報告</li> </ul>

				・実践発表
土佐研高岡算数サークル	H31. 1. 26	土佐市教育研究所	16名	・実践報告・紹介 「割合」「比例」「長さ」
土佐研高岡算数サークル	H31. 2. 16	土佐市教育研究所	16名	・実践報告・紹介 ・研究会参加報告
夏休み子ども理科教室 ①トンボ採取・講演	H30. 8. 5	佐川町黒岩地域 集落活動センター	105名 (保護者含)	講師—杉村光俊先生 演題—『トンボから考える自然環境』
夏休み子ども理科教室 ②標本教室	H30. 8. 25	佐川町立黒岩小 学校図書室	9名 (保護者含)	・トンボ標本づくり *8月5日参加者対象
高岡地区児童生徒 科学研究発表会	H30. 10. 17	土佐市高岡会館	48名 (保護者含)	・高岡郡内の市町村代表による 科学研究発表会の運営・審査
高知県へき地・複式教育研究会 (高岡支部【へき地教育部会】) 夏季研修会	H30. 7. 27	高知青少年の家	20名	・実践発表 ・講演 元大野見中学校長 稲田稔明氏 「学校と地域の連携と児童生徒の育成」
高知県へき地・複式教育研究大会	H30. 10. 19	吾北小学校	約150名	・公開授業・授業討議・研究発表 ・講演会 高知県若年教員研修アドバイザー ・西留安雄氏 「アクティブな学びを創る授業改革」
高知県家庭科教育研究会	H31. 2. 14	蓮池小学校	35名	消費者教育について 高知大学 小島 郷子
図書 SLA 高岡支部研修会	H30. 5. 29	蓮池小学校	30名	演題：「NIE活用 ～ハガキ新聞を 作成してみよう～」 講師：高知新聞 NIE 推進部 小笠原 雄次 氏
生活・総合的な学習教育研究 大会	H30. 11. 20	四万十町立 具同小学校	5名	公開授業（2年・5年） 講師（たつの市立新宮小学校 石堂裕先生）
高知県道德教育研究会 総会・学習会	H30. 4. 29	岡豊小学校	約30名	「道德科の充実のために」 森有希 高知大学准教授
高知県道德教育 夏期研修大会	H30. 8. 7	岡豊小学校	約100名	講演 資料分析等
高知県道德教育研究大会	H30. 12. 2	岡豊小学校	約40名	公開授業、分科会、指導助言
高知県道德教育研究大会 冬の大会	H30. 12. 26	高知会館	約200名	・実践発表・パネルディスカッション ・講演 「主体的・対話的で深い学び」を道 徳科でどう実現するか 日本道德教育学会名誉会長 横山 利弘 氏

定例の学習会・役員会	4月～3月 (毎月1回)	岡豊小学校	15名	資料教材分析、情報交換等
高吾地区音楽教育研究会小学校 研究部会研究授業	H30. 12. 26	四万十町立 窪川小学校	7名	・授業者 福嶋 綾子
高吾地区音楽教育研究会 サマーミュージック研修	H30. 12. 26	土佐市立 高岡第一小学校	33名	・講師 岩井 智弘 演題「音楽で心を開放し、学びを深めよう～心の育成に向けて～」
第52回高吾地区小・中学校 音楽会	H29. 8. 17	須崎市民文化会館	教員33名 児童生徒 287名	・講評 西森 悦子
高吾地区音楽教育研究会中学校 研究部会研究授業	H29. 11. 10	日高村立 日高中学校	3名	・授業者 三浦 知佳

※各部会は、上記の研修会の他にも学習会を開催しています。

#### 研究推進（発表・参加協力等）

部 会	会 の 名 称	開催期日	備考
算 数	第51回中国・四国算数・数学教育研究（広島）大会 実践発表	H30. 11. 9	
算 数	算数セミナーに参加	H30. 7. 25・26	
理 科	第66回高知県理科教育研究大会 第3学年支部提案 『自然に親しみ、科学的に解決する力を育てる理科教育 —「ゴムの働き」の実践を通して—』	H30. 11. 20	
へき地教育	第67回全国へき地教育研究大会（京都）大会 分散会での実践発表 「中土佐町立大野見中学校 吉川美希教諭」	H30. 10. 11	
生 活	日本生活科・総合的学習教育学会冬季学習会に多数参加	H31. 1. 13	
道 徳	日本道徳教育学会四国支部学習会 四国・小中学校道徳教育研究大会（香川県）	H30. 7. 14 H31. 1. 24・25	

#### \* その他

- ・ 国語 → 高知県国語教育研究大会（土佐研主催）の紀要に、土佐市教研国語部会の研究を記載した。
- ・ 家庭科 → 高知県消費者センターと連携し、「消費者教育パック」を作成
- ・ 社会 → ○ 高知県社会科教育研究会（研究部）として、新学習指導要領実施に向けて、基調提案の見直しをしてきた。（会の開催4回）  
○ 新聞資料を活用した社会科の授業づくりの研究を進めている。



## 平成30年度 西部支部活動実施報告

### 1 支部組織構成（平成30年度役員名簿）

役職名	氏名	勤務校（連絡先）	主な職務内容
支部長	布 正人	黒潮町立三浦小学校	支部総括
副支部長	今津 一志	四万十市立竹島小学校	支部長の補佐
事務局長	清家 利華子	宿毛市立松田川小学校	諸事務担当
研究部長	池上 みどり	四万十市立大用小学校	研究の充実、共催活動の促進
事業部長	坂本 恭美子	黒潮町立南郷小学校	人材バンクの構築
組織部長	大橋 更三	四万十市立東中筋中学校	加入促進
広報・ 会計部長	大原 淳子	四万十市立中筋小学校	広報活動の充実・会計担当

### 2 支部の活動

#### （1）西部支部役員会

第1回 平成30年6月 2日（土） 組織確認・活動計画

第2回 平成31年1月26日（土） 活動報告・成果と課題、次年度の方向性

#### （2）支部総会並びに研修会

第3回 平成30年8月27日（月） 支部活動等についてと研修会 講師： 西部教育事務所 宮崎 史和 チーフ
----------------------------------------------------------

※上記を予定していたが、台風の影響のため実施できなかった。

#### （3）組織拡大の取組

- ・平成30年度の支部組織の構成や活動計画について支部で協議し、本年度の取組や役員の決定、任意研究団体の土佐教育研究会との関連性や運営等について確認した。
- ・西部支部には独自の任意研究団体が多くあるので、将来性を考慮し、連携を図りながら研究を推進している。
- ・土佐教育研究会や西部支部の存在を周知するように、支部総会の開催案内を行った。

#### （4）後援を含む研究活動の推進

- ・土佐教育研究会西部支部総会並びに研修会を来年度も計画したい。
- ・幡多国語セミナー、幡多算数セミナーの共催
- ・幡多道德教育研究大会の後援

# 令和元年度 活動方針

共通テーマ「主体的・創造的な教育を求めて」

## 1 活動方針

日本国憲法と教育基本法に精神に立脚し、民間教育団体として、研究の自由を堅持し、教員の資質・指導力の向上を図り、本県教育課題の解決に寄与する。

- (1) 子どもたちの成長と幸福を希求し、主体的・創造的な教育を目指した研究を推進する。
- (2) 全県的な組織拡充を目指し、一層の研究推進とその成果の広報に努める。

## 2 重点目標

- (1) 現場教員の願いをかなえる研究組織の確立を図る。
- (2) 全県を網羅する研究組織の拡大を図る。
- (3) 児童・生徒の確かな学力定着及び向上のために研究活動の充実を図る。
- (4) 新学習指導要領の完全実施に向けた取り組みを進める。

## 3 実践への方策

- (1) 各支部の特性を生かした創造的・自主的な研究活動を推進する。
- (2) 各支部単位の研究体制の確立に努める。本年度から、各支部の研究大会を輪番で県大会と兼ねて実施する。今年度は高知支部の研究大会が県大会を兼ねる。
- (3) 各支部や専門部会の研究活動を交流し合うとともに、全国的な動向を研修する機会を設ける。
- (4) 部会の開催を全県的に行き、地域に根差した研究の充実を図るとともに、若手教員の育成に努める。そのために、高知県教育委員会をはじめとする関係機関との連携を図る。
- (5) ホームページ等による効果的な方法で、本会の取り組みや、研究の成果を発信する。
- (6) 本会の趣旨に賛同する者の加入を積極的に図るとともに、研究の拡充により教員の資質・指導力の向上に努める。
  - ① 本年度の会員目標数を1,600名以上とし、各支部及び支部、個々の会員等が会員拡大に努める。
    - ・新規採用教員をはじめとする若年会員の獲得
    - ・研究大会、研修会での専門部役員による勧誘
    - ・職場での会員による未加入者への勧誘
  - ② 関連団体への組織的な働きかけの継続
    - ・土佐研ホームページによる広報
    - ・校長会、教頭会等での管理職への勧誘
    - ・県教委、地教委等と連携しての勧誘
- (7) 会員増による会費収入の増額に努めるとともに、関係機関からの補助金及び研究助成金の交付を働きかける。

## 令和元年度事業計画書

6月8日現在

事業名		実施時期	場 所	講師職氏名
国 語	第51回夏期国語教育学習会	2019年7月24日・25日	高知会館	青木伸生・白坂洋一(筑波大学附属小学校教諭)
	第27回国語セミナー(幡多)	開催なし		
	第60回高知県国語教育研究大会	2019年11月22日	高知小学校	白石範孝(明星大学教授)
書写	第60回高知県書写教育研究大会			
社 会	第16回社会科セミナー	2019年7月25日	昭和小学校	由井 薫健(筑波大学附属小学校教諭)
	第67回高知県社会科教育研究大会	2019年11月29日	昭和小学校	
算 数	高知算数セミナー	2019年7月23日・24日		
	幡多算数セミナー	2019年7月25日		
教 学	第52回中国・四国算数・数学教育研究(高知)大会	2019年11月7日・8日	県立美術館ホール 潮江小・附属中他	
	支部合同研究発表会	2020年1月4日	高知県教育センター	
理 科	小中学校理科臨地学習会		高岡郡	
	小学校夏期学習会			
	中学校理科夏期学習会			
	高知県理科教育研究大会(小学校)	2019年12月13日	高岡郡黒岩小学校	
	高知県理科教育研究大会(中学校)	2019年12月12日	高岡郡佐川中学校	
生活	第11回四国小学校・総合的な学習教育研究協議会研究大会	2019年11月1日	香美市立楠目小学校	古川鉄治(白百合女子大学)・渋谷一典(文部科学省)
音楽	第66回高知県音楽教育研究大会(土長・南国大会)	2019年11月29日	岡豊高校・香長中・日章小	
造 形	第59回高知県造形教育研究大会			
	第59回表現・図画工作・美術科実技講習	2019年8月2日	附属中学校	川田英二(土佐中学・高等学校)
	第59回表現・図画工作・美術科実技講習会	2019年8月16日	高知大学	野角孝一(高知大学)
小家	令和元年度高知県小学校家庭科教育研究大会	2019年7月～8月	附属小学校	
技 術 家 庭	第6回木工チャレンジコンテスト高知県大会	2019年8月	附属中学校	
	幡多・四万十地区技術・家庭科夏期研修会	2019年8月	中村中	
	「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール高知県大会	2019年8月	附属中学校	
	高知県中学校技術・家庭科生徒作品コンクール	2019年10月	横浜中(予定)	
	「あなたのためのおべんとう」コンクール高知県予選	2019年10月		
	第16回高知県からくりロボットコンテスト	2019年11月	高知工専(予定)	
保 体	第57回高知県技術・家庭科研究大会			
	第60回高知県小学校体育連盟夏季共励会	2019年8月	吾川地区	
	第58回学校体育保健研究大会	2019年11月	幡多地区	
	第33回高知県小学校体育研究大会	2019年12月	香美・香南地区	
外 国	第72回高知県高校・中学校英語弁論大会	2019年11月	高知県立大学永国寺キャンパス	
	高知県英語教育研究大会	2019年12月8日	高知県教育センター本館	酒井英樹(信州大学教授)
道 徳	第38回高知県道徳教育夏期研修大会	2019年8月		田邊重任(高知短期大学教授)
	第53回高知県道徳教育研究大会	2019年12月26日		横山利弘(日本道徳教育学会名誉会長)
特活	特別活動研究大会			
図書	高知県学校図書館教育研究大会	2019年10月3日	佐川小・中学校	
視 聴 覚	高知県放送・視聴覚教育研究会夏季研修会(東部地区)	2019年7月30日	香美市	
	高知県放送・視聴覚教育研究会夏季研修会(西部地区)	2019年8月上旬		
	高知県放送・視聴覚教育夏季特別研究会	2019年8月19日	高知市	宇治橋祐之(NHK放送文化研究所主任研究員)
	高知県放送・視聴覚教育研究大会	2019年11月上旬		
進路	第54回高知県進路指導研究大会			
へき	高知県へき地複式教育夏季研修会	2019年8月		
	高知県へき地・複式教育研究大会	2019年11月		
環境	まるごと森林学習	2019年10月13日	高知県森林研修センター	大目真彦 他

令和元年度 土佐教育研究会東部支部活動計画

1 支部の組織構成 (令和元年度役員名簿)

役 職	氏 名	勤 務 校	役 職	氏 名	勤 務 校
支 部 長	中野 博文	川北小学校	事 務 局	大井 厚志	佐古小学校
研究部長	浜地 洋一	片地小学校	研究副部長	吉良 和夫	吉川小学校
事業部長	平石 誠	穴内小学校	事業副部長	中島 佳史	片地小学校
組織部長	門田 満穂	安芸第一小学校	組織副部長	岡崎 裕彦	伊尾木小学校
広報部長	小松 良浩	吉良川小学校	広報副部長	山岡 大二	野市小学校
会計部長	森田 卓志	大宮小学校	会計副部長	白石 ゆり	香長小学校

2 支部役員会

第1回 令和元年 6月15日(土) 学校 9:30～11:00  
 第2回 令和2年 2月 1日(土) 学校 9:30～11:00

3 東部支部総会・研修会

(1) 期 日 令和元年 7月20日(土) 14:00～16:30  
 (2) 場 所 芸西村生涯学習館 学習室  
 (3) 内 容

◇ 研修会  
 演題 『  
 講師

◇ 東部支部総会

① 支部長あいさつ

② 報告

ア 令和元年度 活動方針及び予算について (定期大会の報告)

イ 令和元年度の役員について (定期大会の報告)

③ 議事

ア 平成30年度 東部支部活動報告について

イ 平成30年度 東部支部決算について

ウ 令和元年度 東部支部活動計画(案)について

エ 令和元年度 東部支部予算(案)について

オ 令和元年度 東部支部役員について

カ その他

④ 新役員あいさつ

4 東部支部教育研究会について

(1) 期 日 令和元年11月30日(土) 14:00～16:40  
 (2) 場 所 (香南市野市町)

(3) 内 容

① 開会行事 (開会あいさつ)

② 日程説明

③ 実践発表 14:10～

実践発表Ⅰ ( ) 部会 ( ) 学校) ( ) 先生)

実践発表Ⅱ ( ) 部会 ( ) 学校) ( ) 先生)

④ 講 演 15:10～

演題: 「 ※特別活動 」

講師: ( )

⑤ 閉会行事 (閉会あいさつ)

## 中部支部活動計画

### 1 支部の組織構成（平成31年度役員名簿）

支部長	川端 純子	南国市立日章小学校
事務局	宇賀 孝司	南国市立日章小学校
研究部	和田 礼史	南国市立北陵中学校
事業部	島内 祥夫	南国市立岡豊小学校
組織部	武市 親典	南国市立長岡小学校
広報部	藤本 由美	南国市立三和小学校
会計部	別役 敏子	南国市立岡豊小学校

### 2 支部の取り組み

#### ○ 支部の活動計画

##### ①各教科等研究大会補助

- ・補助する研究大会（県大会・全国大会）については現在情報収集中

##### ②研究会の開催

- ・講師を招聘しての研究会
- ・県外講師を招聘しての研修会（情報収集中）
- ・小・中共通課題での研究会の実施

#### ○ 組織拡大の取り組み

- ・各校、役員を中心に組織拡大の取り組み
- ・補助をする研究大会等で「入会のご案内」の配布

#### ○ その他

- ・役員会の開催

## 令和元年度 土佐教育研究会 高知市支部 活動計画

### 1 支部の役員

職名	氏名	学校名	所属名
支部長	森 一正	五台山小学校	高知市教育研究会 会長
副支部長	岡林 宏枝	大津小学校	高知市教育研究会 副会長
副支部長	宮地 秀徳	長浜小学校	高知市教育研究会 副会長
事務局長	西森 真理	潮江東小学校	高知市教育研究会 事務局長
事務局次長	南 和佳	神田小学校	高知市教育研究会 事務局次長
研究部長	篠田 直男	介良小学校	土佐教育研究会 研究部副部長
事業部長	岡田 定之	初月小学校	土佐教育研究会 事業部副部長
組織部長	廣瀬 潤	第四小学校	土佐教育研究会 組織部副部長
広報部長	武林 勝志	十津小学校	土佐教育研究会 広報部副部長
会計部長	弘瀬 直美	旭東小学校	土佐教育研究会 会計部副部長

### 2 支部の取組

- 支部の活動計画
  - (1) 各教科・領域での研究活動の推進
    - ・高知市教育研究会等の各研究団体との連携した研究実践・研究大会の開催
  - (2) 組織拡大の取組
    - ・各校，役員を中心に組織拡大の取組
  - (3) 講演を含む研究活動の推進
    - ・各教科研究会の支援

### 3 土佐教育研究会高知市支部研究大会

- (1) 期 日 : 令和元年8月21日(水)
- (2) 主 催 : 土佐教育研究会 土佐教育研究会高知支部
- (3) 会 場 : 高知市自由民権記念館(予定)
- (4) 日 程 : 13:15~13:30 受付  
13:30~13:35 開会行事  
13:35~15:05 講演  
15:05~15:10 閉会行事
- (5) 講 師 : 未定

# 令和元年度 土佐教育研究会高岡支部・活動計画

## 1. 支部組織構成

### (1)高岡支部役員

役職名	氏名	勤務校
支部長	弘光 敦	米奥小
事務局	坂本 隆志	黒岩小
研究部長	中越 あかね	東又小
事業部長	黒瀬 忠行	上ノ加江小

役職名	氏名	勤務校
組織部長	杉野 雅彦	浦ノ内中
広報部長	西本 文雄	斗賀野小
会計	石川 美香	中央小

## 2. 高岡支部の活動計画について

### (1)高岡支部役員会(会長・事務局)

期 日：平成31年4月16日

内 容：平成31年度高岡支部活動方針・活動内容の検討

### (2)高岡支部総会並びに研修会

期 日：令和元年7月 2日(火) 15:30～17:00

会 場：高知県須崎総合庁舎3F 第6会議室

内 容：

①土佐研高岡支部、教科・支部役員の確認

②研修会高岡支部の活動計画について(研究会・学習会等)

■土佐研高岡算数サークル学習会：毎月1回 土佐市教育研究所にて

■高岡理科部会：子ども理科教室、夏休み標本教室、教材研究 他

■道徳部会・特活部会・技術家庭部会・生活部会・小家部会：教材研究等

③研修会

■講話：「 調整中 」

講師： 調整中

### (4)その他

■会費を、速やかに納入することを呼びかける。

■新規会員加入を、個々で呼びかけする。

■各部会に、活動資金を配分する。

■令和2年2月に、年度末の総会・研修会を予定。



## 2019年度 西部支部活動計画

### 1 支部組織構成（2019年度役員名簿）

役職名	氏名	勤務校（連絡先）	主な職務内容
支部長	布 正人	黒潮町立三浦小学校	支部総括
副支部長	今津 一志	四万十市立竹島小学校	支部長の補佐
事務局長	清家 利華子	宿毛市立松田川小学校	諸事務担当
研究部長	池上 みどり	四万十市立大用小学校	研究の充実、共催活動の促進
事業部長	坂本 恭美子	黒潮町立南郷小学校	人材バンクの構築
組織部長	大橋 更三	宿毛市立橋上中学校	加入促進
広報・ 会計部長	布 正人	黒潮町立三浦小学校	広報活動の充実・会計担当

### 2 支部の活動

#### （1）西部支部役員会

第1回 2019年5月25日（土） 組織確認・活動計画

第2回 2020年2月 1日（土） 活動報告・成果と課題、次年度の方向性

#### （2）支部総会並びに研修会

第3回 2019年7月28日（日） 支部活動等についてと研修会

#### （3）組織拡大の取組

- ・2019年度の支部組織の構成や活動計画について支部で協議し、本年度の取組や役員の決定、任意研究団体の土佐教育研究会との関連性や運営等について確認する。
- ・西部支部には独自の任意研究団体が多くあるので、将来性を考慮し、連携を図りながら研究を推進していく。
- ・土佐教育研究会や西部支部の存在を周知するように、支部総会の開催と重ねて広報活動を行う。

#### （4）後援を含む研究活動の推進

- ・土佐教育研究会西部支部総会並びに研修会（7月28日）の実施
- ・幡多国語セミナー、幡多算数セミナーの共催
- ・幡多道德教育研究大会の後援

# 令和元年度収支予算

収入の部

単位:円

科 目	前年度予算額	本年度予算額	増 減	備 考
会 費	2,300,000	2,080,000	△ 220,000	2,000円×1,040人
県 補 助 金	1,000,000	1,000,000		高知県教育委員会
雑 収 入	50	50		預金利息
繰 越 金	10,160	1,925	△ 8,235	
研 究 助 成 金	270,000	270,000		日本教育公務員弘済会高知支部 文教協会
寄 付 金	1,000,000	0	△ 1,000,000	高知県教職員互助会
合 計	4,580,210	3,351,975	△ 1,228,235	

支出の部

単位:円

事業区分	科 目	前年度予算額	本年度予算額	増 減	備 考	
補助 対象 事業	部 会 配 分 金	2,000,000	1,340,000	△ 660,000	19部会	
	中国・四国・全国大会	0	120,000	120,000	2部会(算数・生活)	
	小 計	2,000,000	1,460,000	△ 540,000		
補助 対象 外 事業	本 部 ・ 支 部	支 部 費	400,000	500,000	100,000	5支部
		研究大会補助費	0	60,000	60,000	
		第10回研究大会	250,000	0	△ 250,000	
		小 計	650,000	560,000	△ 90,000	
	そ の 他 の 事 業 費	謝 金	0	0		定期大会講師謝金
		旅 費	100,000	110,000	10,000	定期大会・本部役員会他
		借 損 料	0	0		定期大会会場費
		消 耗 品 費	5,000	0	△ 5,000	定期大会看板
		印 刷 製 本 費	450,000	0	△ 450,000	会報「土佐」
		会 議 費	5,000	5,000		定期大会・本部役員会他
通 信 運 搬 費		100,000	40,000	△ 60,000	切手・宅配便代	
雑 費		90,000	50,000	△ 40,000	配分金振込手数料他	
小 計	750,000	205,000	△ 545,000			
事 務 局 費	賃 金	970,000	970,000		事務手当+通勤手当・事務補助手当□	
	通 信 運 搬 費	35,000	35,000		電話料金	
	消 耗 品 費	15,000	15,000		文具類等	
	印 刷 製 本 費	10,000	10,000		印刷代	
	退 職 手 当	100,000	50,000	△ 50,000	退職手当	
	振 込 手 数 料	35,000	35,000		会費振込手数料	
	雑 費	15,210	11,975	△ 3,235	教職員名簿他	
	小 計	1,180,210	1,126,975	△ 53,235		
合 計	4,580,210	3,351,975	△ 1,228,235			

## 令和元年度 役員名簿

役員	氏名	勤務校	役員	氏名	勤務校
会長	藤田 由紀子	浦戸小	組織部長	吉村 美恵子	初月小
副会長(高知)	森 一正	五台山小	副部長(高知)	廣瀬 潤	第四小
〃 (東部)	中野 博文	川北小	〃 副部長(東部)	門田 満穂	安芸第一小
〃 (中部)	川端 純子	日章小	〃 副部長(中部)	武市 親典	長岡小
〃 (高岡)	弘光 敦	米奥小	〃 副部長(高岡)	杉野 雅彦	浦ノ内中
〃 (西部)	布 正人	三浦小	〃 副部長(西部)	大橋 更三	橋上中
事務局長	山下 美奈子	小高坂小	広報部長	海地 哲雄	高須小
〃 次長(高知)	西森 真理	潮江東小	〃 副部長(高知)	武林 勝志	十津小
〃 次長(東部)	大井 厚志	舟入小	〃 副部長(東部)	小松 良浩	吉良川小
〃 次長(中部)	宇賀 孝司	日章小	〃 副部長(中部)	藤本 由美	三和小
〃 次長(高岡)	坂本 隆志	黒岩小	〃 副部長(高岡)	西本 文雄	斗賀野小
〃 次長(西部)	清家 利華子	松田川小	〃 副部長(西部)	布 正人	三浦小
研究部長	藤原 祐三	神田小	会計部長	西本 壽香	旭東小
〃 副部長(高知)	篠田 直男	介良小	〃 副部長(高知)	弘瀬 直美	旭東小
〃 副部長(東部)	浜地 洋一	片地小	〃 副部長(東部)	森田 卓志	大宮小
〃 副部長(中部)	和田 礼史	北陵中	〃 副部長(中部)	別役 敏子	岡豊小
〃 副部長(高岡)	中越 あかね	東又小	〃 副部長(高岡)	石川 美香	中央小
〃 副部長(西部)	池上 みどり	大用小	〃 副部長(西部)	布 正人	三浦小
事業部長	山田 洋士	朝倉中	会計監事	岡林 章子	潮江東小
〃 副部長(高知)	岡田 定之	初月小	〃	松下 整	城北中
〃 副部長(東部)	平石 誠	穴内小			
〃 副部長(中部)	島内 祥夫	岡豊小			
〃 副部長(高岡)	黒瀬 忠行	上ノ加江小			
〃 副部長(西部)	坂本 恭美子	南郷小			

令和元年度 専門部会役員名簿

部 会	部会長	勤務校	事務局長	勤務校
国 語	岡田 定之	初月小	岡林 千裕	附属小
書 写	大谷 俊彦	城東中	正岡 雅代	春野東小
社 会	伊藤 浩昭	伊野南小	田村 隆吏	朝倉第二小
算 数	吉良 和夫	吉川小	井本 啓介	大津小
理 科	猪原 靖	潮江小	岩田 友里奈	介良中
生 活	白石 ゆり	香長小	廣瀬 愛	附属小
音 楽	濱田 陽治	佐川町教育委員会	中石 淑江	一宮中
造 形	達川 浩一	江ノ口小	松田 陽一	附属小
小 家	岩本 初美	加茂小	濱岡 かおり	附属小
技 家	山田 洋士	朝倉中	福田 元一	旭 中
保 体	山本 儀浩	小高坂小	平野 大輔	附属小
外 国	山中 由香	東津野中	寺尾 順子	土佐山学舎
道 徳	島内 祥夫	岡豊小	和田 礼史	北陵中
特 活	中野 博文	川北小	小松 朋子	春野東小
図 書	岡林 宏枝	大津小	武樋 亜紀	十市小
視 覚	浜地 洋一	片地小	梶原 和美	佐古小
進 路	鍋島 智	吾北中	今西 一成	夜須中
へ き	黒瀬 忠行	上ノ加江小	黒瀬 忠行	上ノ加江小
環 境	橋本 正博	土佐自由学校	西村 一輝	横浜新町小

# 土佐教育研究会会則

## 第 1 章 総 則

第 1 条 (名称) 本会は土佐教育研究会と称する。

第 2 条 (目的) 本会は職能団体であって、教育に関する研究を行い、本県教育の振興に寄与することを目的とする。

第 3 条 (基本方針)

1. 日本国憲法と教育基本法に精神に立脚し、民間研究団体として、研究の自由を堅持し、その課題と使命にこたえる。
2. 子どもたちの真の幸福と成長を希求し、主体的・創造的な教育を目指した研究をすすめる。
3. 全県的に全分野の専門部会にわたる組織を拡充して自主的、民主的な活動運営をはかる。
4. 本県の実態の把握に立った実践計画をたて、研究の全域化を行うとともに全国組織との連携を深める。

第 4 条 (事務所) 本会の事務所を会長の指定する場所に置く。

第 5 条 (事業) 本会は第 2 条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研究会、講演の開催
2. 研究、調査、**成果の刊行及び会報の発行等**  
**\* 成果及び会報の発信**
3. 会員の福利厚生並びに相互の親和
4. 教育関係機関、団体との連携
5. その他本会の目的達成に必要な事業

第 6 条 (資格)

本会は義務教育諸学校に勤務する教職員および保育園、幼稚園関係、その他本会の趣旨に賛同する者をもって組織する。

第 7 条 (支部、専門部会)

本会は第 5 条の事業を円滑にするため、支部、専門部会を置く。

1. 支部は、東部、中部、高知、高岡、西部の 5 支部とする。
2. 専門部会は、国語、書写、社会、算数・数学、理科、生活科・総合的な学習、音楽、造形、小学家庭、技術・家庭、保健体育、外国語・外国語活動、道徳、特別活動、学校図書館、視聴覚、進路指導、**へき地教育**、環境教育の 19 部会とする。

**\* 小規模・複式**

## 第 2 章 機 関

第 8 条 (決議機関) 本会の決議機関は大会とする。

第 9 条 (大会)

大会は最高決議機関であって毎年 1 回 6 月に開くことを原則とし、臨時大会は代表委員の 3 分の 1 以上の要求があった場合及び本部役員が必要と認めた場合、会長がこれを招集する。

第 10 条 (大会構成)

大会は本部役員（支部長を含む）および各専門部会の代表委員（部会長，副部会長，事務局長の 3 名）をもって構成する。

第 11 条 (大会権限) 大会は次の事を決議する。

1. 会則の承認又は変更に関する事
2. 予算の議決，決算の承認
3. 事業方針ならびに事業計画の決定
4. 本部役員を選出
5. その他必要な事

第 12 条 (会議) 会議は構成員の過半数（委任状を含む）で成立し，多数決とする。

第 13 条 (役員会) 本会に次の役員を置く。

- ①会 長 1 名 ②副会長 若干名 ③事務局長 1 名 ④会計部長 1 名  
⑤研究部長 1 名 ⑥事業部長 1 名 ⑦組織部長 1 名 ⑧広報部長 1 名  
⑨会計監事 2 名

第 14 条 (役員の任務) 役員の任務は次のとおりとする。

1. 会長は本会を代表し，会務を総理する。
2. 副会長は会長を補佐し，会長に事故あるときは，その職務を代行する。
3. 事務局長は会長の下にあって事務ならびに事業を統轄する。
4. 研究部長は、研究会の企画ならびに各支部の連絡調整にあたる。
5. 事業部長は、研修事業の企画ならびに各部の連絡調整にあたる。
6. 組織部長は、組織の拡充強化をはかる。
7. 広報部長は、広報，機関誌等の発行を司る。  
\* 広報活動にあたる。
8. 会計部長は本会の会計を司る。
9. 会計監事は本会の会計監査にあたる。

第 15 条 (事務局) 本会に事務局を置く。細則は別に定める。

第 16 条 (役員選出)

役員は大会において選出する。但し，事務局長は会長が指名し，大会の承認を得て決定する。

第17条 (任期) 役員の任期は1ヵ年とし、再任を妨げない。

第18条 (次長また副部長)

事務局及び各部(本部役員)には、次長または副部長を置くことができる。

1. 次長または副部長は会長が委嘱する。
2. 次長または副部長は所属長を補佐し、担当部局の任務を遂行する。

第19条 (支部) 各支部に支部長を置く。

1. 支部長は各支部において選出し、支部運営をはかる。
2. 支部運営の細則は支部ごとに定める。
3. 支部運営は各専門部と連携をとる。

第20条 (専門部会) 各専門部会に部会長を置く。

1. 専門部会長は各専門部会において選出し、その運営を司る。
2. 各専門部会の細則は専門部ごとに定める。
3. 各専門部会の運営は各支部と連携をとる。

### 第 3 章 会 計

第21条 (会費)

本会の経費は、会費、補助金、寄付金、その他の収入をあてる。  
会費は年額2,000円とする。

第22条 (会計年度) 会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

附 則

昭和56年5月29日 一部改正  
平成4年6月29日 一部改正  
平成5年6月21日 一部改正  
平成13年6月25日 一部改正  
平成22年6月20日 一部改正  
令和元年6月8日 一部改正

昭和47年～昭和49年 会費 1,000円  
昭和50年～昭和55年 会費 1,200円  
昭和56年～昭和61年 会費 1,500円  
昭和62年～平成12年 会費 1,800円  
平成13年～ 会費 2,000円

	= = = = =	
	年間会費	
	2,000円	
	= = = = =	



## 会長退任にあたって

土佐教育研究会

中田 正康

この度、土佐教育研究会の会長を退任いたしました。2年間の期間でしたが、皆様には大変お世話になりました。

私が会長を務めた2年間で感じたことは、一つは、土佐研の5支部での活動や、19の専門部での研究・実践が、土佐研を支えている大きな柱であること、二つは、関係団体からの土佐研への期待が非常に大きいということです。実際、支部での活動や、専門部での研究会などは、高知県の教員にとって、なくてはならないものとなっていますし、県大会や中四国大会、全国大会なども土佐研の会員によって支えられています。こうした実績は、これまでの土佐研の活動を支えてこられた方々によって、長年積み上げられてきたもので、一朝一夕にできるものではありません。この土佐研の活動は、高知県教育委員会からも高く評価していただいております。

これからも、これまでの活動を継承しながら、今日求められる教育の新たな要請に応えていかなければならないと思います。

また、一方で、土佐研の会員の減少という研究団体としての大きな問題があります。大きな研究実績もあり、関係団体からは高い評価をいただいているにもかかわらず、組織の拡大にはつながっていないという一種矛盾したように思える状態が続いています。その理由には、複雑なものがあるかとは思いますが、一つには、土佐研が教員にどれだけ意識されているのかという問題があると感じます。これまでも増して、土佐研の研究活動を広く広報し、仲間を増やしていくことが重要だと思います。

寄付金の廃止に伴う予算削減など、厳しい状況はありますが、新たな役員、会員の皆さんの知恵と工夫で、これからの土佐研の活動を盛り上げていくことを期待しております。

この2年間のみなさまの研究・実践及び土佐研へのご支援に感謝申し上げます。